

2020/7/4 阪大専門研修プログラム 内科系合同説明会(開催中止)



新内科専門医制度と 阪大病院関連プログラム

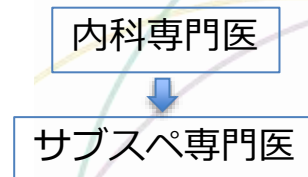
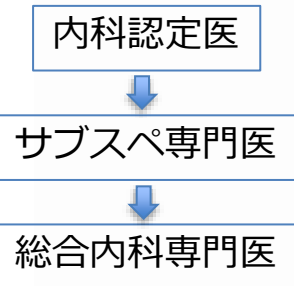
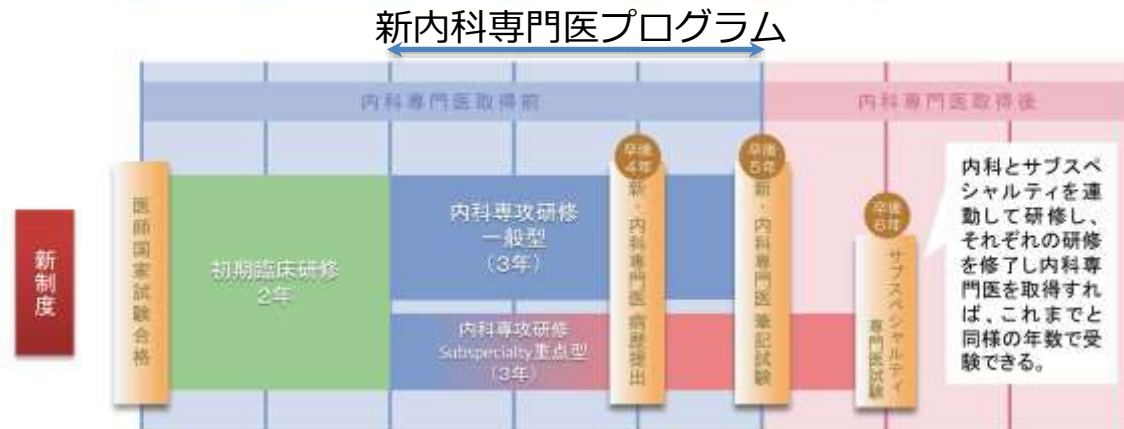
大阪大学医学部附属病院内科系科専攻医サポートセンター
水井 理之

新内科専門医制度の概要

これまでの
制度



現行制度
2018/4～



新専門医制度のコンセプト

- これまでの「専門医」 = 各学会が独自に認定、広告の自由化

⇒資格乱立や質のバラつきも問題

- 2011年「専門医の在り方に関する検討会」で議論した結果：
 - 「専門医の質を高め、良質な医療が提供されること」を目的に**中立的な第三者機関（日本専門医機構）**が、専門医の認定と養成プログラムの評価・認定を統一的に行う。
 - 基本領域とサブスペシャリティ領域の**二段階制**
 - 統一化された専門医資格で地域医療への貢献につなげる

■新たな専門医制度の基本設計

サブスペシャリティ領域専門医 (29領域)

集中治療	脊髄脊髄外科	手外科	放射線診断	放射線治療	頭頸部がん	生殖医療	婦人科腫瘍	周産期	がん	小児血液	小児神経	小児病循環器	小児病循環器	リウマチ	小児外科	心臓血管外科	呼吸器外科	消化器外科	神経内科	老年病	感染症	アレルギー	肝臓	腎臓	糖尿病	内分泌代謝	血液	呼吸器	循環器	消化器
------	--------	-----	-------	-------	-------	------	-------	-----	----	------	------	--------	--------	------	------	--------	-------	-------	------	-----	-----	-------	----	----	-----	-------	----	-----	-----	-----

基本領域専門医 (19領域)

内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリテーション科	総合診療
----	-----	-----	-----	----	------	------	----	-------	------	-------	------	-----	----	------	-----	------	------------	-------------

ポイント 1 : 経験すべき症例等が細かく規定

70疾患群のうち、少なくとも 通算で45疾患群以上を経験し、システムに登録

通算で最低56疾患群以上の経験と計160症例以上を登録
最終的に病歴要約29編（査読あり）を提出⇒筆記試験へ

専門医プログラム

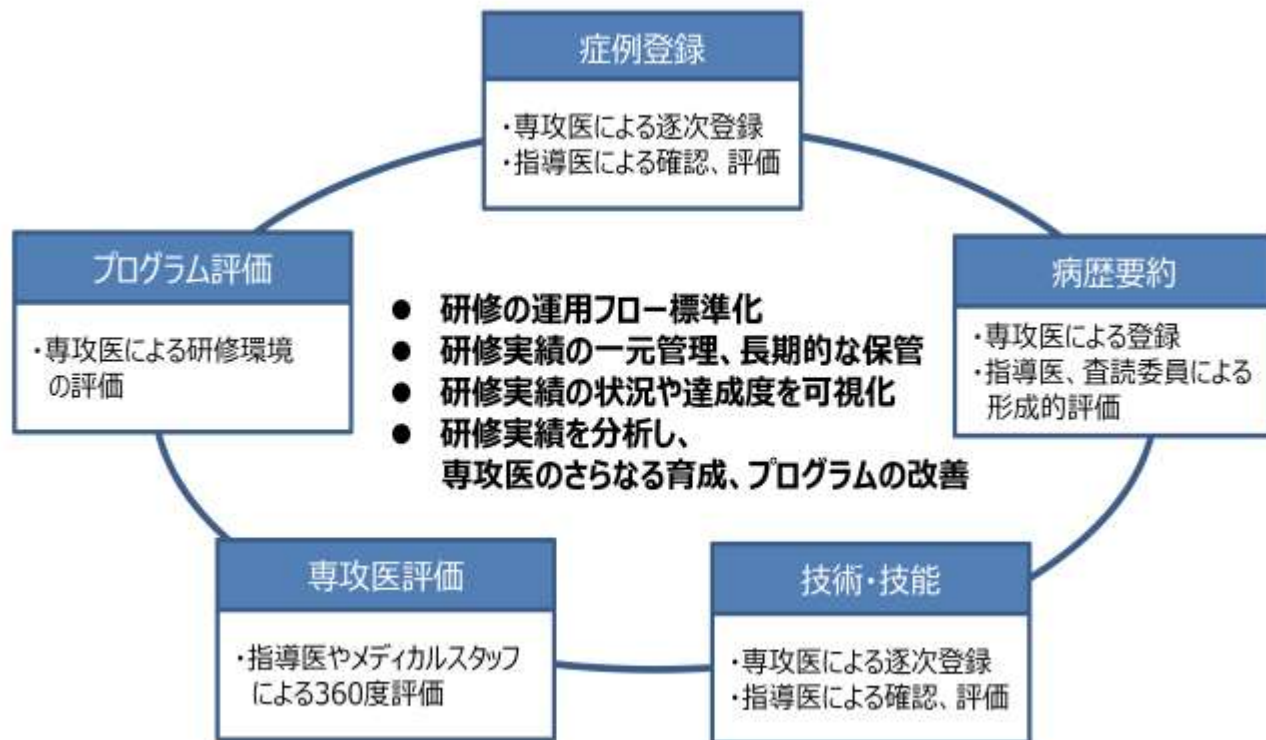


その他研修期間内に修了が必要な条件

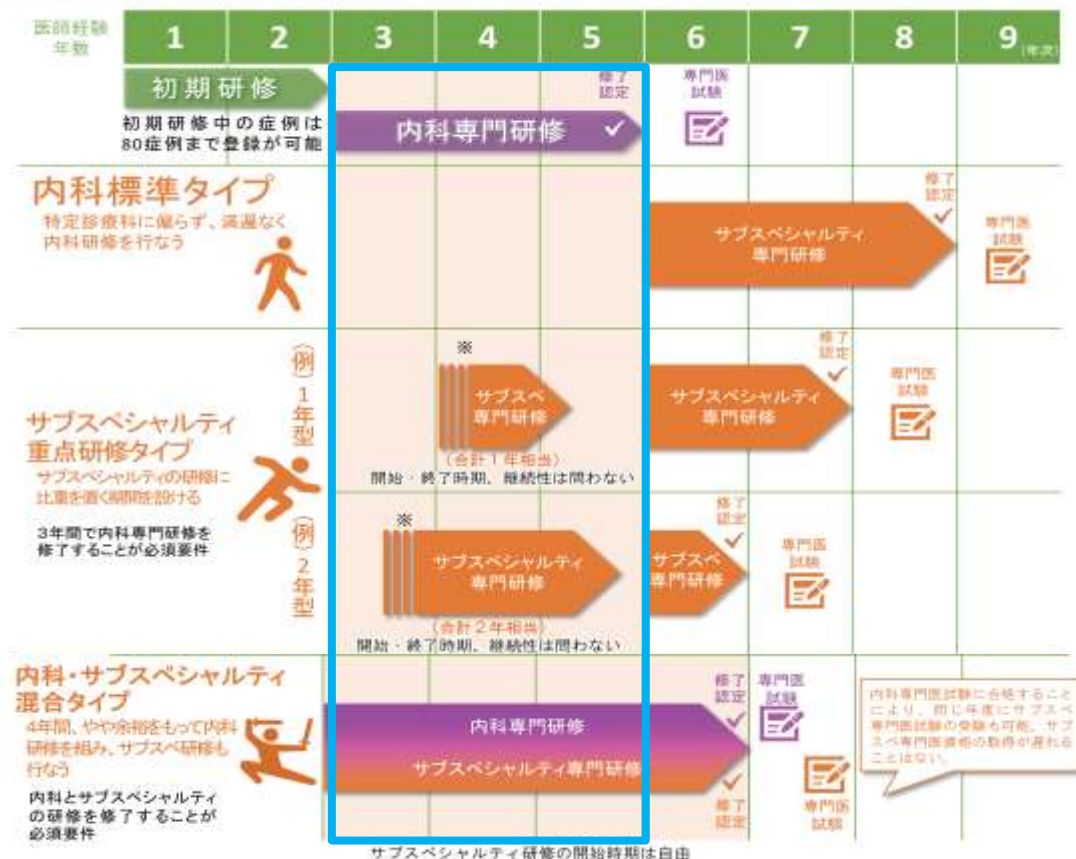
- 内科系の学術集会や企画に年2回以上参加すること
- 筆頭演者または筆頭著者として学会あるいは論文発表を2件以上すること
- 外来が必須（外来受け持ちの病歴要約提出が義務付けられている）
- JMECC（内科救急・ICLS講習会）受講 など

日本内科学会専攻医登録評価システム (J-OSLER)

Online system for Standardized Log of Evaluation and Registration of specialty training system



サブスペシャリティ（専門分野）研修



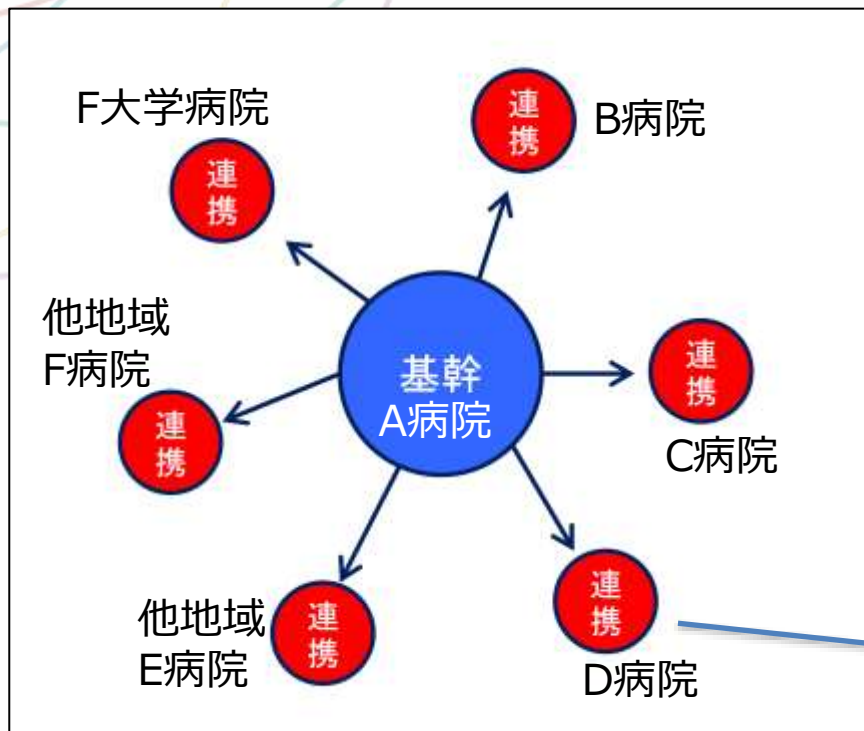
●サブスペ研修の開始時期は自由

●内科基本領域研修とサブスペを混合させて、研修期間に余裕をもたせるのもあり

●ただし、今後システムが変更される可能性もある

ポイント2：複数施設での症例経験が必要

A病院プログラム（例）



基幹施設での研修1年以上
連携での研修も1年以上
(特例的に連携が半年のプログラムも)

例

A(1年) → B(半年) → E(半年) → A(1年)

基幹

連携

基幹

A(1年) → D(2年)

基幹

連携

- それぞれの連携施設が基幹プログラムをもつ場合も多い
- 特に医療過疎地域での研修が推奨されるようになりつつある現状

阪大関連内科専門医プログラム（再編中）

大阪府施設群グループ1
大阪府施設群グループ2
大阪府施設群グループ3
大阪府施設群グループ4
大阪府施設群グループ5
阪大プログラム

兵庫県施設群

- 阪大グループの大阪府下の施設を、地域性や関連性に基づき5つにグループ分け
- 各グループは3-5の基幹病院と3-10の連携病院からなる
- 地域医療貢献を考慮し、それぞれのグループに兵庫県の関連施設を分配予定
- ほぼすべてのプログラムに阪大が連携施設として入る

大阪府施設群グループ1（再編案）

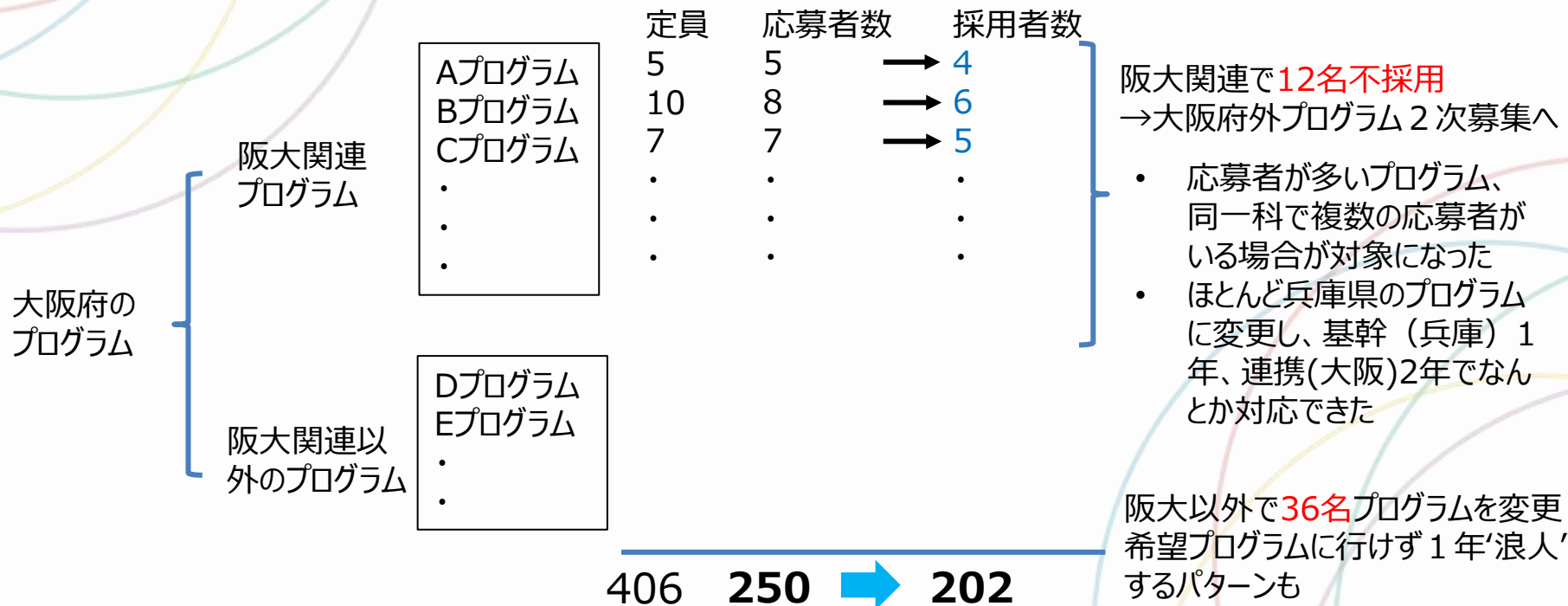
病院名	専門研修プログラム名
大阪労災病院	大阪労災病院内科専門研修プログラム
りんくう総合医療センター	りんくう総合医療センター内科専門研修プログラム
大阪南医療センター	国立病院機構大阪南医療センター内科専門研修プログラム
堺市立総合医療センター	堺市立総合医療センター内科専門研修プログラム
市立貝塚病院	
近畿中央胸部疾患センター	
阪大病院	
関西労災病院(仮)	関西労災病院内科専門研修プログラム

基幹病院

連携病院

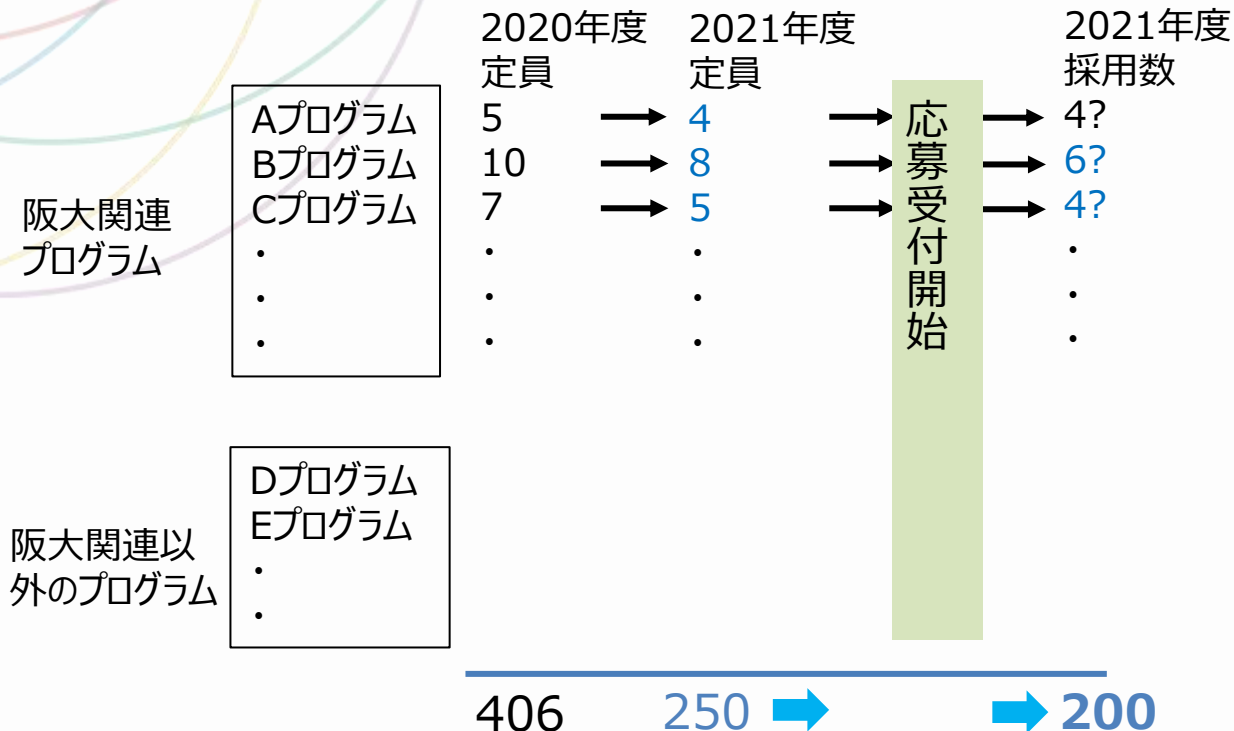
シーリング（採用数上限）問題

- 「医師偏在の助長を防ぐ」仕組みとして大阪府では、シーリングが設定（兵庫県は現在対象外）
- 大阪府では2020年度の応募において、2019年度の採用実績をもとに、202名と決められた



【要注意】来年度のシーリングはさらに厳しくなります

- 2021年度大阪府は、通常採用上限が**200名**に
- 応募者数調整のため、プログラム定員数が軒並み削減され、プログラム定員数を昨年406名→250名程度に



- 同一科で複数の採用は極めて困難な状態になります
- 定員超過となる可能性が高くなります



早めに指導医にご相談ください

阪大内科系科として、最大限サポートします



阪大内科系全診療科

循環器内科

入局希望者①
(大阪医療センタープログラム希望)
入局希望者②
(大阪警察病院プログラム希望)
⋮

消化器内科

入局希望者③
(大阪労災プログラム希望)
入局希望者④
(大阪府立プログラム希望)
⋮

腎臓内科

入局希望者⑤
(大阪労災プログラム希望)
入局希望者⑥
(市立豊中プログラム希望)
⋮

阪大内科専攻医サポートセンター

循環器内科 消化器内科
腎臓内科 内分泌代謝内科
呼吸器内科 免疫内科
老年総合内科 神経内科
血液腫瘍内科

情報を集約
各基幹施設と協議
各科バランスを考慮しながら調整
推薦者リストを作成

推薦者 リスト

プログラム責任者

大阪労災プログラム

関西労災プログラム

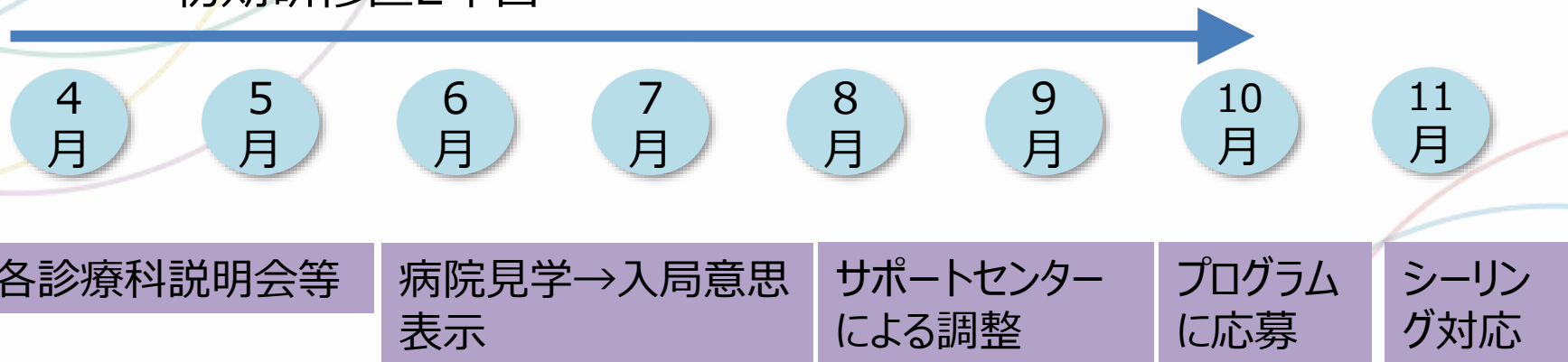
大阪医療センター
プログラム

警察病院プログラム

大阪急性期・総合
医療センタープログラム
⋮

早目に診療科を決め、 今後の専門研修の意思表示を！

初期研修医2年目



- ・ マッチングは行わず、応募できるのは **1 プログラムのみ**
- ・ 不採用となった場合、シーリングのため大阪府下で2次募集応募は**事実上不可能**